施 設 名 山梨県小瀬スポーツ公園

所 管 課 観光文化・スポーツ部 スポーツ振興課

指 定 管 理 者 公益財団法人山梨県スポーツ協会

### 1 指定管理者の推移

導入年度	平成18年度						
指定管理者名		出資 法人		指定	期間		委託料総額 (単位:円)
財団法人 山梨県体育	協会	$\circ$	H18.4.1	$\sim$	H21.3.31	3年	1,353,329,000
公益財団法人 山梨県体育協会 (H24.3.31まで財団法人)			H21.4.1	~	H26.3.31	5年	2,150,678,400
公益財団法人 山梨県位	体育協会	0	H26.4.1	$\sim$	H31.3.31	5年	2,153,010,000
公益財団法人 山梨県スポーツ協会 (H31.4.1山梨県体育協会から名称変更)		0	H31.4.1	~	R5.3.31	4年	1,827,475,900
公益財団法人 山梨県スポーツ協会 (H31.4.1山梨県体育協会から名称変更)			R5.4.1	~	R9.3.31	4年	2,043,080,000

### 2 施設の概要

所		 在			也	甲府市小瀬町840
設	置	年	月	E	∄	昭和61年11月1日
設 ( 法	置、建、		根 例		<b>処</b> )	都市公園法、山梨県都市公園条例
設	置		目	É	的	(1)都市公園としての①~③の機能を発揮すること ①遊び、憩いの場を提供すること ②防災拠点としての機能を発揮すること ③良好な緑地景観、環境を提供すること (2)スポーツの場を提供すること (3)主催事業の実施を通じて、スポーツに親しむ機会を提供すること
主:	な業	務	の I	为 ?	容	<ul><li>(1)公園施設及び設置器具等の維持保全</li><li>(2)有料施設の利用承認</li><li>(3)スポーツ振興のための催しの実施</li><li>(4)スポーツの講習会の実施</li><li>(5)県が実施する大会等への協力</li></ul>
主(	なた定	ī 設 員	货		容)	○公園面積 46.0ha ○施設の内容 ・第1種公認陸上競技場(敷地面積34,825㎡、トラック、インフィールト、 メインスタント、ハックスタント、サナ、スタント、電光掲示、夜間照明、17,183人収容) ・第3種公認陸上(補助)競技場(敷地面積23,902㎡、トラック、フィールト、 器具庫、倉庫) ・球技場(敷地面積15,800㎡) ・野球場(敷地面積25,146㎡、内外野スタント、スコアホート、 夜間照明、13,091人収容) ・公認水泳場(敷地面積10,344㎡、50m及び25mプール、メインスタント) ・庭球場(敷地面積17,150㎡、コート16面、メインスタント) ・庭球場(敷地面積17,150㎡、コート16面、メインスタント) ・体育館(延床面積8,259㎡、3,404人収容) ・武道館(延床面積11,449㎡、武道場、弓道場、相撲場、2,864人収容) ・アイスアリーナ(延床面積5,071㎡、882人収容)・クライミンク・場・駐車場(第1~5) ・その他(クラフトタワー、芝生広場、緑地、園路広場)
	備 改築工 一括管 <sup>3</sup>					<ul> <li>・平成8年3月25日 武道館新築 延床面積11,449.16㎡</li> <li>・平成12年6月1日 アイスアリーナ新築 延床面積5,071.41㎡</li> <li>・平成16年3月22日 クライミング場新築 延床面積174.14㎡</li> <li>・平成17年9月30日 陸上競技場サイドスタンド改築 延床面積2,855.64㎡</li> <li>・平成18年3月15日 陸上競技場バックスタンド改築 延床面積2,687.38㎡</li> </ul>

### 3 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

年度 項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
収入合計	561,927,264	578,827,831	625,484,875	635,005,303	652,646,837	
支出合計	564,527,256	574,700,983	621,498,571	632,843,586	655,084,226	
収支差額	△ 2,599,992	4,126,848	3,986,304	2,161,717	△ 2,437,389	

### 4 利用状況、利用者満足度の状況

			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
利	用実	績	831,491人	1,069,326人	1,754,693人	1,352,729人	2,193,650人	公園利用者総数
利満	用 足	者度	0	0	0	©	©	「満足」又は「どちらかといえ ば満足」の合計 ②:80%以上 ○:60%以上80%未満 △:60%未満

#### 5 運営目標の達成状況(令和6年度)

運営目標の指標

①来園者数 目標値 1,931,000人 / 実績値 2,193,650人 ②上記うち有料施設利用者数 目標値 615,200人 / 実績値 599,809人

令和6年度は第5期指定管理期間の2年目として前年度に引き続き、各施設を安全・安心にご利用いただくために各施設月1回の施設整備点検日を設け、利用者ニーズを捉えたサービスの提供、適正かつ公平な施設運用、利用促進とコスト削減を意識した施設運営を基本的な運営方針として、ご要望に対しての迅速かつ適切な対応、心を込めた温かい対応など「おもてなし」の心を常に持ち、利用者の皆様に満足いただけるよう施設運営に取り組みました。

令和5年5月8日にコロナウィルス感染症が第5類に分類されたことにより、園内利用者も徐々に回復したことに加え、令和6年度は関東ブロック各種大会が実施され、また、コロナ禍での観客の規制も解除されたため来園者数が大幅に回復したと推測される。

なお、利用料金収入は目標値を大きく上回り、対前年度比18,720千円余の増額となったが、支出において 人件費の同22,511千円余の増額等により収支は2,437千円余の赤字となった。令和7年度において支出額 の削減方法として事業効率の見直し等による人件費、光熱水費等の削減等を進め、支出の改善に努めていく。

#### 6 施設所管課による総合的な評価及び指導事項(令和6年度)

令和6年度は来園者数が目標を大きく上回り、イベントや大会の開催、広報活動の強化により、多くの県民に親しまれる施設運営が実現された。特に、コロナ禍からの回復とともに、関東ブロック大会などの大規模イベントが集客に大きく貢献した。

一方、有料施設利用者数は目標にわずかに届かなかったものの、利用時間の拡大や無休営業など、利用者の利便性を損なわない工夫が見られた点は評価できる。

また、施設運営においても、カフェスタイルでのレストラン営業や丁寧な接客対応など、利用者の利便性や快適性を高める工夫が見られた点は評価できる。こうした取り組みにより、利用者満足度の向上にもつながっていると考えられる。

一方で、施設の老朽化が進行する中、修繕が必要な箇所や美観の低下が一部で見受けられたことから、今後は修繕対応の迅速化に加え、施設機能の確保はもちろんのこと、魅力向上や景観維持にも積極的に取り組む必要があると指導した。

### 7 施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況(令和6年度)

施設機能の維持・確保を前提としつつ、以下の取り組みに努めた。

○修繕対応の迅速化

設備等の定期点検のほか日常点検を強化し、不具合箇所の早期発見に努め県と連携した迅速な修繕を徹底した。

○美観の維持・向上

トイレや共用スペースの清掃強化、植栽管理の充実、塗装や外観、体育施設の床の補修など、見た目の快適性や安全性に配慮した維持管理を行なった。

○施設の魅力向上

利用者の声を反映した改善提案の収集と実施、SNSを活用した情報発信やイベント、サービスの充実を通じて、施設全体の魅力を高めた。

施 設 名 山梨県小瀬スポーツ公園

所 管 課 観光文化・スポーツ部 スポーツ振興課

指定管理者 公益財団法人山梨県スポーツ協会

1 利用状況 (単位:人、%)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	公園利用者数	831,491	1,069,326	1,754,693	1,352,729	2,193,650	
	有料施設利用者数(観客含)	(402,556)	(546,032)	(730,571)	(695,038)	(968,224)	
	利用者数合計	831,491	1,069,326	1,754,693	1,352,729	2,193,650	
	目 標 値	1,030,000	1,296,000	1,240,000	1,800,000	1,931,000	
	実績/目標割合	80.7%		141.5%	75.2%	113.6%	
利用者数	目標値の設定方法	平度にウン事明よ別コ感大利等値標にウン事明よ別コ感大利等値標ができる間は、いて、これのでは、いて、これのでは、いて、これのでは、いて、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが	平年に、1000 では、1000では、1000では、10	令のナ大除基て修利等値標というのかない。 (修利等値標ができる) では、工用ををとする。 (作列等値標ができる) では、工用ををとする。 (作列等値により、 (作列等値によりを注意により、 (作列等値により、 (作列等値により、 (作列等値により、 (作列等値により、 (作列等値により、 (作列等値により、 (作列等値により、 (作列等値により、 (作列を注意により、 (作列等値により、 (作列を注意により、 (作列を注意により、 (作列を注意により、 (作列を注意をよりを) (作列を注意を注意を注意をよりを) (作列を注意を) (作列を注意を) (作列を注意を) (作列を注意を) (作列を注意を) (作列を)	4月和4年2年2年2年2年2月1日の今月度4年2月で1日の一年2月で1日の1日の1日の1日の1日の1日の1日の1日の1日の1日の1日の1日の1日の1	礎数値とし、関 東大会等の大 規模大会及び 施設の改修工 事を考慮して	
±11	稼働率等(利用率)	2,513人/日	2,930人/日	4,808人/日	3,707人/日	6,010人/日	
利用率	稼働率等(利用率) の 算 定 方 法	利用者数/営業日数(R6:365日)					

## 2 類似施設・近隣施設

名 称・施 設 (1) 山梨県緑が丘スポーツ公園 内 容 等 (2) 山梨県富士北麓公園

#### 3 補修工事等の状況(令和6年度)

(単位:円)

県 テニス場(北面)人工芝改修工事	140,022,300
県 テニス場(南面)人工芝改修工事外5件	377,537,600
管 野球場1塁側内野向きスピーカー(3台)取替修繕	495,000
管 アイスアリーナ冷却水処理装置 薬剤注入ポンプ交換工事	495,000
管 JITスタジアム国旗掲揚ロープ取替修繕	429,440
管上記3件他 99件	21,511,962

修繕等の負担区分(基本協定書): 1件60万円未満の修繕等は指定管理者が実施 \*ただし、上記にかかわらず、県の承認により、指定管理者が修繕等を実施することができる。

#### 4 自動販売機設置状況等(令和6年度)

(単位:円)

台数	選定方法	収入割合	収入額	仕入(支出)額
4	公募	売上額の27%	3,651,592	
4		売上額の25%	2,486,046	
8		売上額の23%	3,715,189	
27	公募	売上額の20%	6,203,872	
1	公募	売上額の29.45%	180,834	

## 5 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

		在未物にかるな人が					(+12.13/
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	ΑIJ	又入額計	561,927,264	578,827,831	625,484,875	635,005,303	652,646,837
		施設利用料	84,415,432	102,836,182	124,112,667	127,841,443	146,562,419
		指定管理者委託料	445,820,140	438,297,000	464,381,000	480,545,927	480,001,167
u <del>n</del>		追加委託料(感染症)	13,017,406	13,396,850	12,344,000		
収		スポーツ振興事業収入	5,956,210	7,780,780	9,682,620	9,210,430	9,309,350
入		自動販売機手数料	9,870,769	10,706,615	13,119,979	15,147,962	16,237,533
		その他	2,847,307	5,810,404	1,844,609	2,259,541	536,368
	ВЗ	<b>支出額計</b>	564,527,256	574,700,983	621,498,571	632,843,586	
		人件費	170,732,954	156,943,898	156,815,759	172,313,369	194,825,287
		修繕費	24,044,828	24,145,021	27,685,776		
		光熱水費	79,889,708			118,185,977	124,273,059
		消耗品費	10,314,653	10,109,283			
		燃料費	11,422,295				
		印刷製本費	1,019,269	915,919		975,358	772,154
		通信運搬費	875,592	935,139		854,723	871,160
		手数料	2,400,616				7,192,031
		保険料	640,280	375,520	400,800	393,290	350,130
		広告料	70,400				469,490
		使用料及び賃借料	3,705,263	4,169,030			4,936,007
支		備品購入費			1,469,600		
		公租公課費	17,663,484	18,156,423			20,843,056
出		スポーツ振興事業支出		4,443,543		5,723,844	5,748,997
_		旅費	7,000	107,348			19,703
		運営諸経費	4,668,499				930,935
		その他	29,421	20,560	24,810	23,720	39,250
		// <b>+</b> 0.7.7.#	222 524 522	222 452 222	242 = 24 2= 2	225 221 555	22224224
		外部委託費	233,781,722			237,601,757	
		清掃業務	35,705,988				45,427,250
		警備業務他	3,483,241	4,300,290			
		植栽管理業務	65,055,759		64,837,344		
		設備管理業務	63,447,634	62,130,857	66,409,158		
		プール監視業務	22 000 100	E1 EE0 000	7,777,000		
		運営サポート業務	66,089,100	71,779,620	69,056,900	41,522,800	42,801,000
		N 선수를 보고	4 1 40/	41 70/	40 10/	07.5%	0.00
		外部委託比率	41.4%	41.7%	40.1%	37.5%	36.2%
	.1	県への納付金		4,126,848	3,986,304	2,161,717	
	収3	支差額(A-B)	$\triangle$ 2,599,992	4,126,848	3,986,304	2,161,717	△ 2,437,389
一人	、当た	り指定管理者委託料*	536.2	409.9	264.7	355.2	218.8

<sup>\*</sup>指定管理者委託料÷利用者数(単位:円)

## (参考)自主事業に係る収支状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
C 収入額計	5,572,817	7,000,174	8,016,829	17,116,959	19,341,989
D 支出額計	3,060,329	2,371,984	12,775,101	14,375,922	16,809,506
収支差額(C - D)	2,512,488	4,628,190	$\triangle$ 4,758,272	2,741,037	2,532,483

## 6 自主事業の実施状況

	事業名	対象者	実施場所
1	スポーツ事業(体育祭り等)	県民	県内各地
2	シーズンイベント (クリスマス、バレンタインデー等)	県民	公園内
3	レストラン事業	県民	体育館
4	売店事業(窓口売店·園内売店)	県民	公園内 各施設窓口
5	斡旋事業(スケート貸靴)	県民	アイスアリーナ
6	スポーツ振興事業 (指導者派遣、軽スポーツ用具の貸出等)	県民	武道館 体育館
7	共催事業(VF甲府との連携事業等)	県民	体育館 武道館 球技場等
8	スポーツ絵画・写真コンクール	県民	展示:武道館

### 7 利用者満足度

実施方法等

実施時期:令和6年4月~令和7年3月

実施方法:公園利用者(来園者)へのアンケート

回答数: 147人

	満足	どちらかといえば 満足	どちらかといえば 不満	不満
花や木々について	86.0%	13.0%	1.0%	
園路や広場について	69.0%	31.0%		
トイレや休憩所について	55.0%	40.0%	4.0%	1.0%
遊具について	67.0%	30.0%	3.0%	
園内情報・案内板について	77.0%	23.0%		
園内の安全・防犯について	69.0%	28.0%	3.0%	
公園スタッフの対応について	88.0%	12.0%		
施設全般の満足度	86.0%	14.0%		_

## 利用者の 主な意見

いろいろな遊具があってよいが、小学生が遊べるものを増やしてほしい。(園路) 街灯が暗い箇所があるので改善してほしい。(園路・第4駐車場)

体育館周辺でスケートボードをやっている人をどうにかしてほしい。小学生や中学 生が早いスピードで走っていて危ない。(園路)

利用者の意見

遊具の増設については県に対して要望している。(園路)

夜間の騒音対策もあり消灯している外灯もあるが、定期的に巡視を行い消えている 外灯については交換する等対策している。(園路)

園路を塞いでたり、スピードを出して走っているスケーターがいたらその都度注意を 行っている。(園路)

# 8 評価結果

項目	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	公園に県民がいつでも気軽に訪れ、充実した時間を過ごすことができる「みんなの公園」として、「良質な緑地環境の保全」「地域住民の憩いの場」「子どもたちの遊びの空間」「緊急時の防災活動拠点及び避難場所の機能」を良好な状態に保持に対応できる水準を維持するため、適正な管理と保守点検を行った。 経年劣化等により頻繁に発生する施設・設備等の修繕は、安全確保を第一に利便性を低下させることのないよう迅速に実施した。 施設の老朽化に伴う劣化及び不具合箇所の早期発見・修繕は迅速に行うとともに、整った公園環境や高レベルな機能を提供できるスポーツ施設を維持するため、適切な保守・点検や植栽管理を実施することにより、来園者・施設利用者に安全で快適な環境を提供できたと考える。	施設全体の清掃・修繕・設備点検等が計画的に実施され、良好な維持管理が継続されている。特に利用頻度の高い施設(武道館等)においても大きなトラブルはなく、利用者からの苦情も少ないことから、適切な管理体制が確保されていると評価できる。今後も、施設の老朽化に伴う劣化や損傷への早期対応を強く意識し、適切な維持管理を行い、利便性を低下させずに利用者が安全で快適に利用できるよう努めること。
運営業務	多くの県民に親しまれる憩いの場として、また県内で最も充実した複合スポーツ施設としてその機能を十分に発揮できるよう取り組んだ。スポーツ教室やフェスティバルを開催した。新たな取り組みとしてオリンピアン、県内プロスポーツ選手や競技団体等と協力しスポーツを楽しむイベント「スポくる」を開催するなど、事業の魅力向上を図った。こうしたことにより、利用者及び参加者からも高評価をいただいており、適正な運営管理業務が実施できたものと考える。	新たな取り組みとしてオリンピアン、県内プロスポーツ選手や競技団体等と協力しスポーツを楽しむイベント「スポくる」など工夫を凝らしたイベントを開催することにより誘客を行っていた点は評価できる。 今後も適切な運営業務を行い、利用者の満足度向上に向けた環境づくりに努めること。
利用状況	各種大会の実施や当協会主催の各種イベント、スポーツ教室を開催し、スポーツ公園にふさわしい施設利用、貸し出しに努め、多数の方々に来園いただいた。業務計画書に基づく各種(利用時間の拡大、無休営業、親切・丁寧な接客、迅速な対応等)の取り組みや、HPやSNSを活用した広報を行ってきた。また、公園内では県民の日などの大規模イベント等が開催できたため公園利用者は大幅に増加した。	新型コロナウイルス感染症流行に伴い減少した利用者についても、新規利用者の獲得に向けた広報活動やイベント開催等により目標値を大きく上回るなど、施設の利用者増加に努めた。 今後は、公園内の注意事項等についても積極的にHPやSNSを活用した広報に努めてもらいたい。

コロナ感染症の第5類化以降、徐々に利用状況は回復し、大会時の観客制限も解除されたことに加え、関東ブロック大会等の大規模大会の開催があったことにより、来園者数については前年度を大幅に上回った。

収入については、コロナ感染症第5類化に伴う利用制限の解除により利用が徐々に回復したことと、園内で実施された県発注改修工事等について施設利用に影響があった場所はテニス場の北8面(ナイター利用不可の場所)のみであったことから収入への影響は少なく、結果、増収となった。

収支状況

利用促進については、無休営業、利用時間の拡大、親切丁寧な接客等のサービス、電子メール、SNS等での空き情報の情報発信等に積極的に取り組み、収入確保に努めた。

支出については、人件費の増加、世界的な物価上昇、電気料、燃料費等の高騰により費用負担が増加したことにより、県による電気料の補填の他、その他経費の節減及び削減に努めたが、前年度を大幅に上回った。

収入は施設使用料や自主事業収入を中心に安定している。SNSを活用した情報発信を行い、公園の無休営業、有料施設の利用時間の拡大など公園利用需要をできるだけ取り込む方策を工夫している点は評価できる。

また、支出については、 世界的な物価上昇、電気料、燃料費等の高騰等の外部的要因があることは理解できるが、こまめな調整を行いエネルギーロスを抑えるなど、経費削減に努めること。

県民一人一人がスポーツに親しみ、明るく豊かで活力あるふるさとづくりを目的とした第77回山梨県体育祭りを開催するとともに、民間企業等の共催で行った各種スポーツ教室(ヴァンフォーレ甲府サッカースクール等)を開催し、多くの方々にスポーツに参加いただいた。

また令和5年度にリニューアルした体育館レストランや、キッチンカー等による園内臨時売店を設置し、公園利用者のサービスの向上に務めた。管理事務所等での窓口売店では、スポーツ用具の販売やレンタルを行い、多くの方々にご利用いただいた。

これらの事業にご参加いただいた方や、施設をご利用をいただいた方に、小瀬スポーツ公園やスポーツに親しむ機会を提供できたことは、公園の管理目標である『Lively(ライブリー)』、活き活きとした、活気ある公園づくりを達成に貢献できたと考える。

地域ニーズに即した自主事業が継続的に実施されており、参加者からの評価も高い。特にスポーツ教室や健康増進プログラムは定着しており、地域貢献の観点からも意義深い取り組みといえる。

また、利用者ニーズの反映としてレストランをカフェスタイルで提供することにより飲食の機会を提供した。

今後も利用者ニーズを把握し、県民にスポーツに親しむきっかけを提供できるよう新たな試みにも積極的に取り組んでいくこと。

自主事業

アンケートにおける全項目で、「満足」も しくは「どちらかといえば満足」の割合が9 0%を超えていた。

各施設において、安心安全に利用できるよう公園管理に努めたこと、利用者の声を反映させたことが高い満足度につながったと考えられる。

利用者 満足度 ただし、施設の老朽化等により、修繕が必要な個所や汚く見える箇所(トイレ等)があることが、「どちらかといえば不満」「不満」につながっていると考えられる。利用者の安全確保と利便性を低下させることがないよう迅速な対応をしていくことが必要である。

今後も安心安全で快適に利用いただけるような公園づくりを目指していけるよう努めていく。

アンケート結果では「満足」「やや満足」が大多数を占めており、評価が高い。今後は比較的不満点が多い項目となっているトイレ、休憩所について施設の老朽化の影響はあるものの、可能な限り改善を行うこと。

また、利用者数に対してアンケートの回答数 が少ない状況である。より多様な意見を反映させるためにも、回答者数の増加に努めること。

# 9 施設所管課による定期評価結果

施策推進 業務の内容	評価	改善内容
健康活動の場の提供	公園設置の目的(県民の健康の維持増進やスポーツの振興のため、運動施設を利用したスポーツによる健康づくり・体力づくりの場を提供する)に対する達成度を把握するため、次の3項目を設定し評価した。この結果、全ての項目において目標値を達成することが出来なかった。スポーツ振興イベントの参加者数【R6年度目標値】4,512人【R6年度実績】3,651人スポーツ教室の参加者数【R6年度目標値】4,558人【R6年度目標値】4,558人【R6年度実績】4,410人運動施設(陸上競技場、体育館、武道館等)の年間利用者数【R6年度目標値】615,200人【R6年度実績】599,809人	施設の設置目的に合わせて達成度を設定した点は評価できる。 令和5年度と比べ各実績値が増加していることは評価できるものの、今後、SNSや地域メディアを活用した情報発信の強化、参加者ニーズを反映したプログラム内容の見直しに加え、高齢者や企業など、今後の増加が見込まれる利用層の掘り起こしにも積極的に取り組み、更なる利用率の向上を図ることで、目標の達成に努めること。
施設の利用 促進業務	○広報活動 ・HPの活用、SNSの活用 ・公園パンフレット、施設情報誌の発行等 ○利用機会の拡大 ・供用日の拡大、供用時間の延長 ・夜間照明施設での教室開催 ・武道館トレーニング室の充実 ・スポーツ体験コーナーの開催 等	多様な利用者のニーズを把握できるようSN Sなど幅広い媒体を活用し広報している点及 び供用日の拡大や時間の延長などは利用機 会の増大につながり評価できる。 今後も、施設の更なる利用促進につながる よう努めること。
生涯スポーツ活動の推進業務	○スポーツ大会の開催 ・山梨県体育祭りの開催 ○参加機会の充実 ・スポーツ健康づくり教室の開催 ・トレーニング実技指導、プログラムの提供 ・スポーツ体験コーナーの開催 ・フェスティバルの開催 ・セミナーの開催 ・プロスポーツイベントの誘致 ・地域スポーツ活動への支援	スポーツ体験コーナーの開催や、サントリーサンゴリアスの試合をはじめとするプロスポーツイベントの誘致など、生涯スポーツの推進につながる取り組みを積極的に取り入れている点は評価できる。 今後も、県民がスポーツに親しむきっかけとなるような企画を、より多く実施するよう努めること。

### 10 管理体制(組織図)

令和6年4月1日現在

